

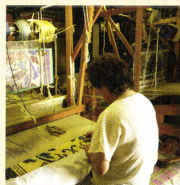
## 赤穂緞通を楽しむ会 協力個人工房紹介

各工房では随時見学を受け付けています。ご希望の方はお電話でご連絡ください。



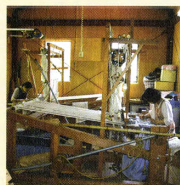
弥生工房

赤穂市古浜町119  
TEL 0791-56-9166



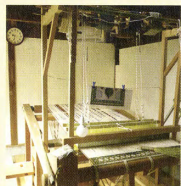
しんし  
仲し工房

赤穂市加里屋2142  
TEL 0791-43-1239



坂越工房

赤穂市坂越3016  
TEL 0791-48-8937  
※お問合せは18時以後をお願いします



弥生工房

青竹工房  
赤穂市新田519  
TEL 0791-56-9166  
(弥生工房)



工房ひぐらし

ひぐらし庵  
赤穂市福浦41  
TEL 0791-45-0824



工房ひぐらし

ひだまり庵  
赤穂市周世706

# しおかぜと赤穂緞通展

平成25年8月2日(金)~8月4日(日)

10:00~16:00

旧坂越浦会所

ここ赤穂には

中国や中近東の香りを漂わせる独特な文様と

繊細で美しい色合いを持つ数物

「赤穂緞通」の伝統が根付いています。

しおかぜの吹き抜ける場所で

お茶のおもてなしとともに

赤穂緞通といけばなの展示をお楽しみください。

主催／赤穂緞通を楽しむ会  
協力／坂越のまち並みを創る会  
平成25年度 赤穂観光アクションプログラム推進事業  
問合せ／TEL 0791-56-9166 (弥生工房)

## 坂越まちなみさんぽ (会期中毎日 10時～おひる頃まで)

江戸時代に栄えた港町の情緒が残る坂越浦周辺を、観光ボランティアさんのガイドでお散歩します。「坂越の船祭り」で知られる大避神社の歴史や、奥藤酒造でのきき酒も楽しめます。

参加ご希望の方は9:50までに旧坂越浦会所にお集まりください。



ひよんの実

### 「ひよんの実」に 似たるうつぼで 流れ着き

大避神社にはこんな句碑があります。  
ひよんの実はイスノキに成る不思議な実。  
ぽっかり空いた穴を吹くと、ひょうと音が鳴ります。  
このたび、ひよんなことからできあがった  
ひよんの実で染色した織通を展示します。

## 夏のお茶会 (8月3日(土)のみ 10時～15時)

お抹茶でほっとひといきつきませんか。  
海からの涼しい風がなよりのおもてなし。

(お茶、お菓子付き)

## 会場 旧坂越浦会所

行政や商業の事務を行う村会所として、  
天保2(1831)年に建築されました。  
江戸時代から変わらない静かな佇まいで  
坂越湾を見守っています。



赤穂市坂越1334 TEL 0791-48-7755

アクセス: JR坂越駅から 徒歩20分

JR坂越・播州赤穂駅から 小島方面行きバス  
坂越湾下車すく

山陽自動車道 赤穂ICから 車25分

## 赤穂織通

日本三大織通の一つである赤穂織通は、江戸末期に児嶋なかという女性が考案し、明治から昭和にかけて産業として発展しました。しかし高度経済成長の波の中で昔ながらの織元は次々に姿を消していきました。技法を伝承するため、平成3年に赤穂市教育委員会が織方技法講習会を開始。現在はその修了生によって織り続けられています。

究極の手仕事と評される赤穂織通。特注の握り鉄を使った「筋摘み、地摘み、仕上げ摘み」の三段階の作業は、全て手作業で行われます。数ヶ月の時間をかけて織り上げられる織通には、織り手の美意識や作品への思いが表現されています。

